

白山ねぎ

1 ねぎの特徴

- ① 収穫期間が長く、出荷日の調整が可能です。
- ② 機械化一貫体系による大規模栽培が可能です。
- ③ 栽培は比較的容易ですが、収穫・出荷調製作業には労力がかかります。
→ ねぎ労働時間 340h/10a のうち収穫 16%、調製 33% ※農林水産省資料（2007年）
- ④ 平成 25 年度から県の野菜価格安定制度に加入しています。
→ H26 補償基準額 283 円/kg（最低基準額 189 円/10a） ※10～12 月出荷の秀優品が対象
- ⑤ 産地交付金 2.7 万円/10a や J A グループの各種助成・事業を受けることができます。

2 主要作型

凡例: ○播種 ◎定植 □収穫期

月 作型	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
夏秋どり	○—○	—◎—◎						□	□		
秋冬どり		○—○	◎—◎	◎—◎					□	□	□

3 栽培ポイント

- ① 湿害に弱いので、水はけの良い圃場を選定し、転作田は排水対策（額縁排水＋心土破碎）を徹底する。
- ② 生育期間中（特に、定植直後～生育前半）の雑草対策を怠らない。
- ③ 収穫期まで 3～4 回土寄せ作業を実施し、軟白部の長さを確保すること。

4 必要な機械

- ①簡易移植機 ②管理機（培土機） ③皮むき機（コンプレッサー含む）

5 出荷調製方法

- ①根切り：包丁などで根を切り取る ④選別・結束：選別し 2～5 本に結束する
- ②皮むき：エア方式の皮むき機を使用 ⑤箱詰め：10 束を出荷箱 (3kg) に詰める
- ③葉切り：長さを測り余分な葉を切る

経営指標(参考)

表 H25年度 白山ねぎ栽培優良事例（A氏・個人経営）

	項目		備考
	作付面積	7.7 a	自作地、家族労働力2人
	出荷量	2,004 kg	出荷期間：8月24日～11月18日
	単収	2.6 t/10a	
	単価	419 円/kg	
収益	販売金額	839,405 円	市場、Aコープ ※1,090千円/10a
費用	種苗費	54,230 円	チェーンポット苗(41枚)等
	肥料費	28,340 円	
	農薬費	28,133 円	
	動力光熱費	13,010 円	軽油・ガソリン代、電気料
	諸材料費	8,000 円	小農具、目安棒、ハウスバンド等
	減価償却費	109,409 円	移植機、管理機、皮むき機等
	販売費	226,663 円	DB箱、JA・市場手数料、運賃等
	小計	467,785 円	
所得		371,620 円	※483千円/10a

1) 生産調整に伴う交付金、修繕費、自家労賃等は考慮していない
2) 動力光熱費、諸材料費は推定値